

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52551	教育実習事前事後指導 Guidance of Teaching Practice	井手・浜・全 教員			1	選択	1年・2年 前期・後期
科目の概要							
この科目は、教育実習（幼稚園）を行うにあたって、1年では、その心構えや具体的な知識を含めたオリエンテーション、現場で求められる実技指導、附属幼稚園での事前指導、実習後の指導等で構成されている。2年では、それぞれの幼稚園での実習に当たって、課題を整理して学びたいことを明らかにすることや、指導案の書き方を学ぶこと、実習後の反省などで構成される。これらの取り組みを通して、幼児教育および保育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に活用する能力を身につける（ディプロマ・ポリシー①②③④⑤⑥）。							
学修内容				到達目標			
① 実習の意義・目的を理解する。 ② 実習の計画、必要な書類の記入方法について具体的に理解する。 ③ 記録の書き方、指導案の書き方（2年）がわかる。 ④ 実習の事後指導を通して、新たな課題や学習目標を明らかにする。				① 実習の意義・目的を述べるができる（ディプロマ・ポリシー①③⑥）。 ② 実習の計画、必要な書類の記入方法を理解し、書ける（ディプロマ・ポリシー②③④）。 ③ 記録の書き方、指導案の書き方（2年）を理解し、作成できる（ディプロマ・ポリシー②③④）。 ④ 実習後に自分の課題や学習目標を明らかにすることができる（ディプロマ・ポリシー①③⑥）。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	主体的に実習に取り組む意欲が持てる。					
	働きかけ力						
	実行力	諸注意をきちんと守って実行する。					
考え抜く力	課題発見力	きちんと反省し、課題を見つけて次に活かせる。					
	計画力	責任実習の計画を考えられる。（2年）					
	創造力	手遊びの変化を考えたり、指導案の内容を考えたりする。					
チームで働く力	発信力	自分の考えをまとめて、書ける。					
	傾聴力	授業を集中してしっかりと聞く。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：「学外実習の手引き」（愛知学泉大学短期大学部編）、幼稚園教育要領・解説、保育所保育指針・解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領・解説 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：教育実習Ⅰ・Ⅱ 保育実習指導Ⅰ・Ⅱ 資格との関連：幼稚園教諭二種							
学修上の助言				受講生とのルール			
欠席せずに、集中して聞き、理解すること。				丁寧に、正確な字を書くように心がけ、必要があれば練習しておく。文章を書くのが苦手な人は、書く練習をしておく。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
			④		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
			④		
	レポート	0	①		
			②		
			③		
			④		
	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
総合評価割合		100			

実習の意義・目的が理解できているか。
 誤字、脱字がない様に、きちんと記入しているか。
 指導案の教師の援助、配慮が考えられるか。
 課題を見つけ、学習目標がたてられるか

(主体性)意欲をもって、主体的に実習に取り組んだか。
 (実行力)諸注意をきちんと守って、実行できたか。
 (課題発見力)きちんと反省し、次に活かすようにしたか。また、教育実習を通して、課題を見つけられたか。
 (創造力)手遊びの変化を考えたり、年齢に合わせて遊びを変化させるにはどうすればよいか考えたりしたか。指導案を参考にしながら、配慮の内容を考えることができたか。
 (発信力)自分の考えをまとめて、伝えることができる文章を書けたか。
 (傾聴力)授業を集中してしっかりと聞き、理解できたか。
 (規律性)遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>熱心に集中して授業を聞き、実習の意義、目的が理解できている。 提出書類等、誤字、脱字なくしっかり書けていて、遅れることなく提出できている。 これらの両方が達成できればS、片方であればA。</p>	<p>授業が理解でき、提出書類もきちんと出せている。 これらの両方が達成できればB、片方であればC。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 実習の概要について説明する。 グループに分かれ論文の練習をする(井手・浜)	講義 教育実習に関する論文を添削し、フィードバックする。	実習の概要について理解できる。	(予習) シラバスを読んでおく。 (復習) 学んだことを整理する。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	教育実習とはどのようなものか、手引を基に学ぶ。 グループに分かれ幼稚園の一日をまとめる(井手・浜)	講義・グループ討議 教育実習の概要の整理を添削し、フィードバックする。	教育実習はどのようなものであるか分かる。	(予習) 「学外実習の手引き」 pp.1-3, pp.9-10を読む。 (復習) 「学外実習の手引き」を読みかえしてみる。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	教育実習の目的、意義について学ぶ。 グループに分かれ幼稚園での遊びを観察する(井手・浜)	講義・グループ討議 教育実習の目的・意義の整理を添削し、フィードバックする。	実習の目的・意義について考えることができる。	(予習) 「学外実習の手引き」 pp.4-6を読む。 (復習) 学んだことを整理する。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
4	社会人としてのマナーや実習中に守るべきこと等について学ぶ。 グループに分かれ保育の専門用語を身につける(井手・浜)	講義・グループ討議 社会人としてのマナーの整理を添削し、フィードバックする。	社会人としてのマナーや実習中に守るべきことが理解できる。	(予習) 「学外実習の手引き」 p.7を読む。 (復習) 学んだことを整理する。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
5	実習にむけて必要な書類(連絡表・出席表・評価表)の作成等の指導と、その作成。 グループに分かれ実習の目標を考える(井手・浜)	演習・グループ討議 各種書類を添削し、フィードバックする。	書き方を理解し、書ける。	(予習) 「学外実習の手引き」 pp.15-18を読む。 (復習) 書けなかった分を書く。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
6	事前指導の受け方、報告書の記入方法や実習に当たって学びたいことの書き方について学ぶ。 グループに分かれ実習記録の書き方を学ぶ(井手・浜)	講義・グループ討議 実習の目標を添削し、フィードバックする。	実習の目標を考え、書くことができる。	(予習) 「学外実習の手引き」 pp.53-60を読む。 (復習) 実習の目標を、もう一度考えてみる。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
7	実習記録の記入の仕方について学ぶ(概要、目的など) グループに分かれ実習記録を作成する(井手・浜)	講義・グループ討議 実習記録の練習を添削し、フィードバックする。	記録の書き方がわかる。	(予習) 「学外実習の手引き」 pp.11-14を読む。 (復習) 授業で配布された資料を見直し、記録の書き方を自分なりに把握する。	45	主体性 実行力 傾聴力 規律性
8	グループに分かれ附属幼稚園実習の事前指導を受ける(行事予定、教育方針、実習中の心構え、持ち物、勤務時間等について)。(井手・浜)	演習 事前訪問指導についての理解を確認し、フィードバックする。	事前指導報告書や地図が書ける。	(予習) 「学外実習の手引き」 pp.60-64を読む。 (復習) 事前訪問指導で聞いたことを整理して、用紙に記入する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	環境構成、子どもの姿・活動、保育者の援助・配慮を記録する(附属幼稚園を見学予定)グループに分かれ実習記録を作成する(井手・浜)	演習 実習記録を添削し、フィードバックする。	幼稚園での遊びや生活を観察することができる。	(予習) 授業で配布されたプリントを再度確認する。 (復習) 実習記録の練習をする。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	教育実習Ⅰの諸注意グループに分かれお礼状の書き方を学ぶ(井手・浜)	講義・グループ討議 個別の相談に応じ、フィードバックする。	お礼状が書ける。	(予習) 実習日誌に必要事項を書く。 (復習) 配布した諸注意をよく読む。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	グループ別に実習反省会を行う。(幼児教育学科全教員)	演習・グループ討議 反省について指導・助言し、フィードバックする。	反省し、次への課題を考えることができる。	(予習) 総括的反省を行い用紙に記入する。 (復習) 反省会で話されたことを整理し、自分の課題を明らかにする。	45	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	教育実習Ⅱの目的と内容を確認し、事前指導報告書の提出について説明を受ける。グループに分かれ指導案を検討する(井手・浜)	演習・グループ討議 指導案の素案を添削し、フィードバックする。	指導案の素案を作ることができる。	(予習) 「学外実習の手引き」 pp. 21-25を読む。 (復習) 必要な書類を書く。	45	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	実習の心得、態度、服装、勤務、子どもに接する態度等について確認する。実習にあたっての課題を整理し、学びたいことをまとめる。グループに分かれ指導案を作成する(井手・浜)	講義・グループ討議 実習の目標を添削し、フィードバックする。	実習にあたっての基本的なことを理解し、学びたいことがまとめられる。	(予習) 「学外実習の手引き」 pp. 53-60を読む。 (復習) 実習にあたっての目標を書く。	45	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	指導案の書き方について学ぶ。グループに分かれエピソード記録について考える(井手・浜)	講義・グループ討議 パソコンを利用し、ネットの情報を収集・活用する。 指導案を添削し、フィードバックする。	指導案の書き方を理解する。	(予習) 指導案に書く活動内容を考えておく。 (復習) 配布された資料に基づき、援助、配慮を考えて書いてみる。	45	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
15	グループ別に反省会を行う。(幼児教育学科全教員)	演習・グループ討議 反省について指導・助言し、フィードバックする。	反省を行い、今後の学習課題がわかる。	(予習) 研究保育を中心に総括的反省を行い用紙に記入する。 (復習) 反省会ではなされたことをまとめ、自分の課題を明確にする。	45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力